



主題名 自分を見つめる

教材名 言葉の花束

人権学習の視点 普遍的な視点「自尊感情」

主題・教材について 中学生は、ふとした言葉で自分の考えや生き方を左右されることがある。ここでは、様々な立場で活躍された方々の言葉を通して自分を見つめ直す機会とするとともに、「自分に贈る言葉（自分を励ます言葉）」を考えることによって自尊感情を高めさせたい。

ねらい 人の思いや考えを通して今の自分を見つめ直し、自信をもって生きていこうとする態度を育成する。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	<b>言葉の魅力を感じ取ろう。</b>				
	○増田さんが勇気付けられた「しあわせはいつもじぶんのところがきめる」という言葉の意味を考えさせる。	一斉	○「増田明美さん」のメッセージに対する感想を出し合う。	○自分の人生を責任をもって生きていこうとする増田さんの思いに気付かせる。	資料集P.26
展開	<b>言葉に託された思いを考えてみよう。</b>				
	○結果は銀メダルであっても、精一杯歩んできた自分の道は悔いのない道だったことを感じ取らせる。 ○夢をもつ才能、夢に近づく努力は、みな平等に持つことができることを感じ取らせる。	一斉	①「私の中では金」と言った伊調さんの思いを考える。  ②「人間は誰しも平等に夢を持つ才能というものが備わっている」の言葉について考えたことを交流する。	○資料に限らず、生徒の実態に応じその他の「言葉」があれば独自に用意する。 ○読み方によって感じ方が違ってくるため、発問に取り上げたもの以外は、各自黙読させる。 ○人の生き方や考え方を感じ取らせ、自分を見つめる機会になるようにする。	資料集P.28 ワークシート 項目① 項目②
まとめ	<b>自分に贈る言葉（自分を励ます言葉）を考えよう。</b>				
	○意見交流を通して、自分や他人を尊重する態度を育成する。	個別 一斉	○「今の自分に贈る言葉」を考え、それをモットーにして、どのように過ごしていこうと思うかを考える。	○自分を見つめ直し、今後の生活に生かせるようにする。 ○発表については、自分であることを知られることを嫌う生徒がいることを配慮する。	ワークシート 項目③④
まとめ	○教師の話によって、生徒の自尊感情を高める。 ※教師が「自分に贈る言葉」や好きな言葉を示すものよい。	一斉	○教師の話聞き、再度人の考え方を知る。	○人それぞれ思いや考えがあることに気付くことを通して、自分を見つめていこうとする態度を促す。	

評価 人の思いや考えを通して自分を見つめ直し、自信をもって生きていこうとする態度が育成できたか。

